

エデンの園 第2福祉課

●就労継続支援B型事業所つむぎ

つむぎクリスマス会&望年会

つむぎではクリスマス会を兼ねて望年会を実施しました。クリスマス会では、くじ引きを行い、次の写真は、クリスマスプレゼントを利用者様がくじ引きで他の利用者様に進呈している所です。またつむぎ内もクリスマス一色となり、クリスマスツリーを飾りました。コロナ禍で制限されるようなことも多くありましたが、今年最後にクリスマス会&望年会が行えたことはとてもいい機会となりました。

つむぎ 目標工賃達成指導員 小川 眞一



●放課後等デイサービス麦わらぼうし

麦わらぼうしでのある日の出来事

ある日のできごと

公園へ行く道中、職員がボールを持って歩いていると、一人の児童がボールを持ちたいと言いました。大通りに面していたことから万一のことを考え大人が持つことを伝えると、「先生、僕はもう5年生ですよ。ここで遊んだり転がしたりはしません」と、きっぱり言われ、私もハッとしました。先を予測して危険を回避することに気を取られ、子どもの今の姿を見ることができていなかったからです。「子どもの力を信じて任せてみる」難しい場面もありますが、もっと子どもの自発性や積極性を大切にしたいと感じました。

放課後等デイサービス麦わらぼうし 保育士 寺田 法子



●エデンホーム森永(青い鳥・ほのか)

楽しいクリスマスも過ごしました♪

エデンホーム森永では青い鳥・ほのかそれぞれのホームでクリスマス会を楽しみました。コロナ禍での行事で大きく開催することは出来ませんでしたが、それぞれのホームならではの雰囲気や内容を考え、全員で楽しいクリスマスのひとときを過ごすことが出来ました。今後も季節に合った行事を取り入れながら、楽しみを持ったホーム生活を過ごしていきたいと思っております。今後ともエデンホーム森永をどうぞ宜しくお願いいたします。

エデンホーム森永 世話人兼生活支援員 保利 翼



令和4年度実践研究発表会

今年度も社会福祉法人エデンの園では、12月28日に実践研究発表会を開催しました。13の事業所とエリアがエントリーし、今年取り組んだ支援や業務改善に関する研究を審査しました。その中で上位3グループに発表をしてもらいました。今年度も昨年に引き続きコロナ禍での開催となった為、リモートで実施しましたが、どのグループも昨年に負けないハイクオリティーな発表でした。この研究の結果が、日々の支援や業務改善に繋がり、更なる発展に繋がればと思います。

法人事務局総務課リーダー 光森 勇人



釈迦岳登山

11月5日、放課後等デイサービス麦わらぼうしでは国富町の法華嶽公園から登る釈迦ヶ岳登山にチャレンジしました。序盤は児童も「疲れた」など消極的な反応でしたが、山頂が近づくにつれ、見えてくる綺麗な景色に児童も喜ばれ登山を楽しんでいる様子がうかがえました。山頂に到着すると達成感を皆で味わい、普段味わう事の出来ない貴重な体験をすることが出来ました。

放課後等デイサービス
麦わらぼうし
管理者 川野 泉



相談支援の窓から ～その18～

エデンの園相談支援事業所
相談支援専門員 那 須 佑 輔

この時期になると「1年って、あっという間ですよ」と常套句が飛び交います。皆様、2022年はどんな1年だったのでしょうか？本当に1年ってあっという間です。

さて、ニュースでもありましたが、今年の漢字に『戦』が選ばれたそうです。今年はロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、スポーツでは、冬季オリンピック、サッカーワールドカップ等、さまざまな「戦」があったことが理由にあがったとのこと。

さて、この「戦」という字ですが、私個人の意見としてですが、正直良いイメージが湧きません。漢字の意味を調べてみると、まず出てきたのが「武器を持って敵と戦う」でした…。その他にも、「勝敗をきそう」「ふるえおののく」など、すごく攻撃的で威圧的なイメージです。私自身、争いごとや勝敗が決まることが苦手なタイプなので、この漢字を見るだけで、ちょっと嫌な気分にもなってしまう。

しかし、その「戦」の漢字の中に別の意味として、「戦ぐ（そよぐ）」という言葉が使われていることを知りました。具体的には「風に吹かれて草や木の葉などが、かすかに音をたてて揺れ動く」。似た言葉には「微風（そよかぜ）」が挙げられるそうです。前述の戦いに向かうような勇ましさから、一変して柔らかいイメージに変わったかと思います。ただ、その言葉の中に、「芯の強さ・ブレない心」を感じることもできます。風に吹かれても倒れない草木。その風がどんなに強いものでも微風だとしても、いつも変わらず、かすかに音を立てて揺れ動くだけ……。

そんな、本当の意味での強い人間にいつかなりたい……ものです。

2022年も大変お世話になりました。2023年も引き続き、よろしくお願いします。

土曜学校メッセージ

金桓基牧師(宮崎めぐみ教会)、印慶子牧師(宮崎柳丸キリスト協会)、
荒平大輔牧師・海老原直宏牧師(宮崎北聖書キリスト教会)、
山口英希牧師(宮崎清水教会)、浅野謙牧師(きりしまキリスト協会)

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。



寄贈品・寄附金ありがとうございます。(10月～12月)

宮王丸郵便局様、コスモ設計様、落合様、上野聖子様、海老原直宏様、川越瑞枝様、廣瀬貴子様、マルキプロパン様、都城点訳音訳友の会様、野口様、綾グリーンガーデン様、ライフサポート様、森工務店様、渡部工務店様、富士産業様、綾町社会福祉協議会様、中原貴代美様、坂本様、清水台通所センター様、片岡朱美様

編集後記

新春とは名ばかりの厳しい寒さが続きますが、つつがなくお過ごしでしょうか。新たな年を迎え、2023年が始まりました。世間ではコロナに対する意識も薄れ始め、中心街などでは忘年会や新年会など少しずつ人込みも増えてきた次第ではありますが、法人としては今も尚、コロナに対する意識を強く持って感染防止対策の徹底を図っています。少しでもコロナが蔓延する前の、以前のような自由な状況へ戻るように今後とも利用者始め、職員一同感染防止対策の徹底を図ってまいります。今年も社会福祉法人エデンの園を宜しくお願い致します。

エデンホーム森永 保利 翼